



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名	三谷セキサン株式会社	上場取引所	東
コード番号	5273	URL	https://www.m-sekisan.co.jp/
代表者（役職名）	代表取締役社長	（氏名）	三谷 進治
問合せ先責任者（役職名）	取締役管理本部長	（氏名）	阿部 亨
半期報告書提出予定日	2025年11月14日	配当支払開始予定日	2025年12月15日
決算補足説明資料作成の有無	: 無		
決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	49,703	18.2	8,593	28.3	9,180	26.4	6,919	39.2
2025年3月期中間期	42,040	3.8	6,695	18.1	7,262	11.1	4,971	10.2

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 8,906百万円(△261.7%) 2025年3月期中間期 2,462百万円(△52.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	392.60	—
2025年3月期中間期	271.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	133,104	96,415	71.0	5,377.22
2025年3月期	125,234	90,542	70.7	4,989.87

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 94,440百万円 2025年3月期 88,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	55.00	—	86.00	141.00
2026年3月期	—	81.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	81.00	162.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	95,000	8.2	15,000	8.0	16,000	7.0	11,400	12.0	646.77	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) ゲイトウェイ・コンピュータ株式会社
(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (3) 中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）をご覧ください。
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数（普通株式）
- | | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期中間期 | 20,986,599株 | 2025年3月期 | 20,986,599株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期中間期 | 3,423,553株 | 2025年3月期 | 3,234,553株 |
| ③ 期中平均株式数（中間期） | 2026年3月期中間期 | 17,626,046株 | 2025年3月期中間期 | 18,283,449株 |

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復により、緩やかな回復基調が見られる一方で、継続する物価上昇や米国の関税政策による影響の懸念等もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力製品であるコンクリートパイル業界におきましては、官公需要は減少しましたが、民間需要が増加したため、業界全体の出荷量は前年同期比で0.4%増と前期並みとなりました。

当中間連結会計期間の経営成績につきましては、売上高は497億3百万円（前年同期比18.2%増）、営業利益は85億93百万円（同28.3%増）、経常利益は91億80百万円（同26.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は連結子会社であるゲイトウェイ・コンピュータ株式会社の全保有株式を譲渡したことによる子会社株式売却益を計上したことにより69億19百万円（同39.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① コンクリート二次製品関連事業

コンクリート二次製品関連事業につきましては、主力のコンクリートパイル部門において需要は前期並みとなり、競争が激化する厳しい経営環境の中、販売強化及び施工効率の向上に努めました。その結果、当部門の売上高は406億69百万円（前年同期比20.1%増）となり、営業利益は70億77百万円（同33.2%増）となりました。

② 情報関連事業

情報関連事業につきましては、ソフトウェア関連の販売増加等により、売上高は42億95百万円（前年同期比11.8%増）となり、営業利益は7億10百万円（同56.7%増）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、ホテル事業においてインバウンド需要が好調を維持していること、また、環境衛生事業の収集運搬部門やリサイクル部門の売上は増加ましたが、外注費も増加したため、売上高は47億38百万円（前年同期比9.0%増）となり、営業利益は12億54百万円（同5.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における資産合計は1,331億4百万円となり、前連結会計年度末と比べ78億69百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価評価に伴い投資その他の資産が増加したことによるものであります。

負債合計は366億88百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億96百万円増加いたしました。これは主に、流動負債の仕入債務の増加によるものであります。

純資産合計は964億15百万円となり、前連結会計年度末と比べ58億73百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきまして、当中間連結会計期間の業績を加味し、下半期においても引き続き受注競争の激化が見込まれるため、下記のとおり修正いたしました。

2026年3月期 通期連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円	1株当たり 当期純利益 円 銭
前回発表予想 (A)	93,000	13,200	14,200	9,700	535.21
今回発表予想 (B)	95,000	15,000	16,000	11,400	646.77
増減額 (B-A)	2,000	1,800	1,800	1,700	—
増減率 (%)	2.2	13.6	12.7	17.5	—

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,091	47,575
受取手形、売掛金及び契約資産	19,652	19,176
電子記録債権	3,291	4,067
商品及び製品	4,199	4,219
仕掛品	27	21
原材料及び貯蔵品	1,082	1,317
その他	539	609
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	72,884	76,986
固定資産		
有形固定資産	17,977	19,198
土地	6,465	6,530
その他（純額）	11,511	12,667
無形固定資産	862	802
投資その他の資産	33,510	36,117
投資有価証券	31,563	34,334
その他	2,130	1,965
貸倒引当金	△183	△183
固定資産合計	52,350	56,118
資産合計	125,234	133,104

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,564	7,653
電子記録債務	6,774	7,611
短期借入金	66	66
未払法人税等	2,556	3,075
工事損失引当金	4	13
保証工事引当金	34	18
その他	7,370	7,454
流動負債合計	24,370	25,893
固定負債		
長期借入金	120	87
役員退職慰労引当金	681	650
退職給付に係る負債	1,222	1,023
保証工事引当金	80	77
その他	8,216	8,955
固定負債合計	10,322	10,795
負債合計	34,692	36,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,146	2,146
資本剰余金	91	94
利益剰余金	77,530	82,923
自己株式	△6,837	△8,270
株主資本合計	72,930	76,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,650	17,545
その他の包括利益累計額合計	15,650	17,545
非支配株主持分	1,961	1,975
純資産合計	90,542	96,415
負債純資産合計	125,234	133,104

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	42,040	49,703
売上原価	32,177	37,590
売上総利益	9,862	12,112
販売費及び一般管理費	3,167	3,519
営業利益	6,695	8,593
営業外収益		
受取配当金	494	562
その他	104	67
営業外収益合計	599	629
営業外費用		
操業休止費用	7	9
撤去費用	8	4
棚卸資産除却損	0	10
その他	16	18
営業外費用合計	32	42
経常利益	7,262	9,180
特別利益		
固定資産売却益	22	10
子会社株式売却益	—	850
その他	—	11
特別利益合計	22	872
特別損失		
固定資産除売却損	7	1
廃棄処分損	—	42
その他	1	4
特別損失合計	9	49
税金等調整前中間純利益	7,275	10,003
法人税、住民税及び事業税	2,232	3,066
法人税等調整額	△4	△67
法人税等合計	2,228	2,998
中間純利益	5,047	7,005
非支配株主に帰属する中間純利益	76	85
親会社株主に帰属する中間純利益	4,971	6,919

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	5,047	7,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,585	1,901
その他の包括利益合計	△2,585	1,901
中間包括利益	2,462	8,906
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,391	8,815
非支配株主に係る中間包括利益	70	90

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月14日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月15日から2025年6月30日にかけて、自己株式を189,000株購入しました。この結果、当中間連結会計期間において、自己株式が1,432百万円増加しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

ゲイトウェイ・コンピュータ株式会社につきましては、2025年9月30日付で当社が保有する同社の全株式を譲渡したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	33,850	3,842	37,692	4,200	41,893	—	41,893
その他の収益	—	—	—	147	147	—	147
外部顧客への売上高	33,850	3,842	37,692	4,347	42,040	—	42,040
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	33,850	3,842	37,692	4,347	42,040	—	42,040
セグメント利益	5,313	453	5,767	1,333	7,100	△405	6,695

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△405百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結損益 計算書計上額 (注3)
	コンクリート 二次製品関連	情報関連	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	40,669	4,295	44,964	4,576	49,541	—	49,541
その他の収益	—	—	—	162	162	—	162
外部顧客への売上高	40,669	4,295	44,964	4,738	49,703	—	49,703
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	40,669	4,295	44,964	4,738	49,703	—	49,703
セグメント利益	7,077	710	7,787	1,254	9,042	△448	8,593

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境衛生部門、ホテル部門、不動産賃貸収入部門及び太陽光発電収入部門が含まれております。
2. セグメント利益の調整額△448百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益の調整後の金額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の減少による資産の著しい減少)

当中間連結会計期間において、「情報関連」を構成していたゲイトウェイ・コンピュータ株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「情報関連」のセグメント資産が、1,237百万円減少しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当中間連結会計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次の通りであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	1,288 百万円	1,464 百万円